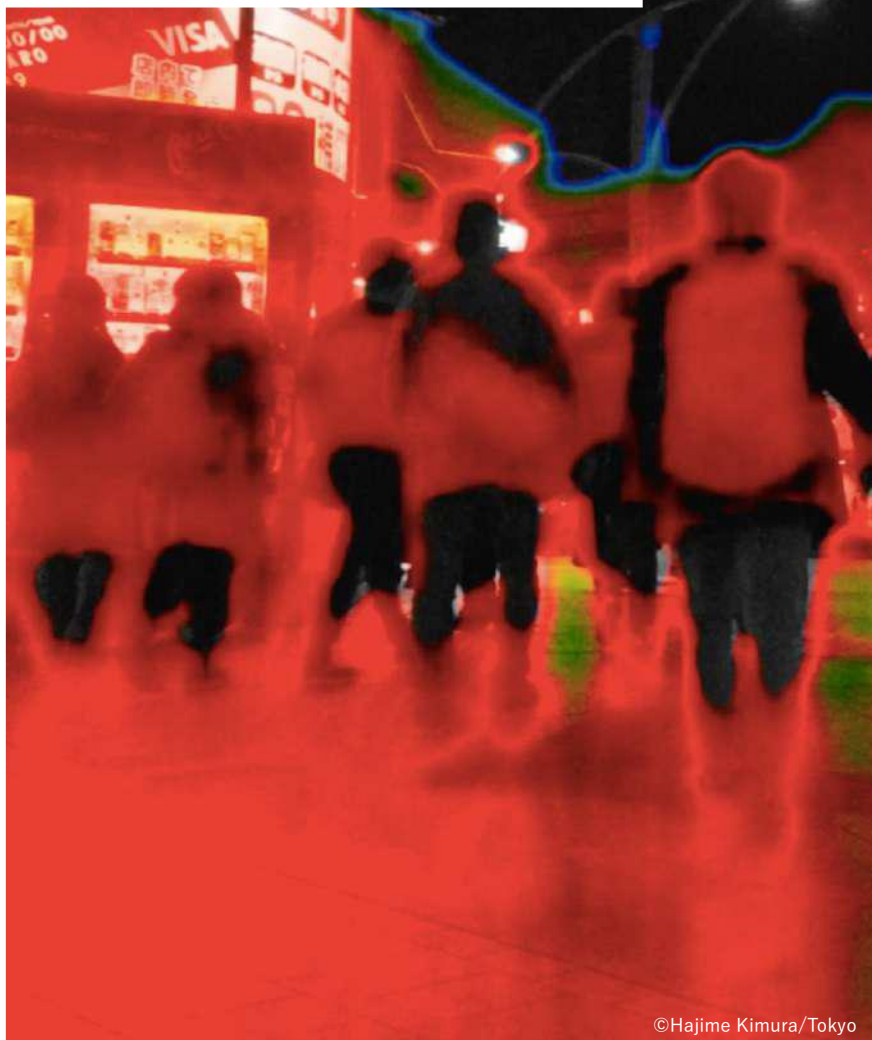


子どもとまなぶ
かんがえる写真展

せんそう そうぞう
戦争を想像する

Photo Exhibition Reimagining War



©Hajime Kimura/Tokyo

2020.10.15. ^{Thu} もく - 10.24. ^{Sat} ど

^{にちようびきゅうかん}
*日曜日休館 Sun Closed

じかん/TIME 10:30-21:00

*10.16. 金 Fri 14:00-21:00

*10.20. 火 Tue 10:30-19:00

ばしょ ^{とよかわ} 豊川いのち・^{あい}愛・ゆめセンター
Venue Toyokawa Inochi-Ai-Yume Center

^{おおさかふいばらきしとよかわ4ちょうめ}

大阪府茨木市豊川四丁目4-28/4-4-28, Toyokawa, Ibaraki-shi

でんわ/TEL 072-643-2069

てんじのこたば/Caption ^{にほんご}・English

いまから75年前、アジア・太平洋戦争とよばれる大きな戦争がありました。世界には、いまもこの戦争のせいで苦しんでいる人たちがいます。「戦争は過去のできごとではなく、いまのわたしたちにも関係があることなのかもしれない」。そんな思いで世界中を取材している写真家の作品をみんなで見て、世界のこれまでとこれからについて想像してみましよう。

Seventy-five years ago, there was a war called the Asia-Pacific War. There are still people in the world who are suffering from this war. "War may not be an event in the past, but something that is relevant to us now." With that in mind, let's all see the works of photographers covering the world and imagine the past and future of the world.

戦後生まれの4人の写真家が伝える

インドネシア・オランダ・オーストラリア

大阪・韓国・北朝鮮・東京・マレーシア

奥山美由紀 Miyuki Okuyama 写真家。オランダ在住。

戦争中にインドネシアで生まれた日系オランダ人の写真を発表します。この人々は「私はどこの国の人間なんだろう?」というなやみを抱えて生きています。ふくざつな生まれのせいで、差別や虐待にあたりもしました。その人たちの生い立ちから現在まで取材しました。

小原一真 Kazuma Obara 写真家。茨木市在住。

「戦争中の日本軍の活動が、海外の人々にどのような影響をあたえたのか」というテーマで写真を発表します。日本人から暴力を受けた海外の人々は、心にふかきずをおいました。そのきずは、その子どもや孫にもひきつがれています。

木村肇 Hajime Kimura 写真家。千葉県在住。

アメリカが日本におこなった「東京大空襲」にまつわる映像を発表します。東京大空襲では、爆弾と火事によって、たくさんの人々がなくなりました。東京の街にいまものこる樹木や景色の映像から、その日のことを想像してみましょう。

林典子 Noriko Hayashi 写真家。東京都在住。

戦争のあと、日本から北朝鮮にわたった女性たちの写真を発表します。朝鮮人の男性とけっこんした日本人女性たちは、家族から反対されながら、日本をはなれました。さまざまな苦しさとしあわせを経験した彼女たちの現在を取材しました。



©Miyuki Okuyama / The Netherlands



©Kazuma Obara / The Netherlands



©Noriko Hayashi / North Korea

10月15日(木)～10月17日(土)は小原、木村、林が会場にいますので、ぜひ話をしてみてください。

もっと知りたい人は / More info ↓
<https://www.reimaginingwar.com/>